

SAP QC/QTP 自動テスト開発支援ツール

QC-ACCEL

for SAP Windows

SAPシステムのテストをSAP QC/QTPによって自動化する為のスクリプト開発や各種設定作業を強力に支援します。

スクリプト自動編集

QTPで記録したスクリプトのパラメータ化や画面キャプチャ等定型処理の追加を行います。

テスト計画自動登録

テスト計画の定義生成・動的データ設定・データ入力シートを自動生成します。

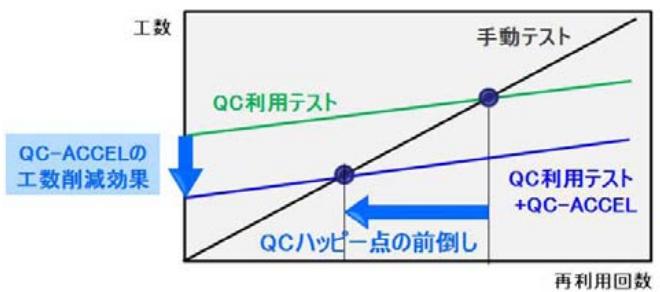
MS-Excelアップロード

コンポーネント・テスト計画・テストセット等、MS-Excelアップロードにより一括で生成します。

QC-ACCELの効果

自動テストの開発工数を半減します！

QC-ACCELは、特に工数インパクトの大きい作業を支援することにより自動テストの開発工数を半減し、SAP QCの工数削減効果をより早期に実現します。



自動テストの開発品質を高めます！

コンポーネント名: ZSOV46_請求プラグ修正_標準登録		
説明		
作成日: 2012/04/09		
作成者: 04618		
変更履歴		
yyyy/mm/dd name([sumitem]) 変更内容		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("SAP Easy Access - ユーザー[ニコ] - ") Activate		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("SAP Easy Access - ユーザー[ニコ] - ") Maximize		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("SAP Easy Access - ユーザー[ニコ] - ") SAPGuiOKCode("OKCode") Set "ZSOV45"		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("SAP Easy Access - ユーザー[ニコ] - ") SendKey ENTER		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("SAP Easy Access - ユーザー[ニコ] - ")受注登録登録(一画面) SAPGuiButton("受注") Click		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("登録 [電池] 請求修正プラス 検索") SAPGuiEdit("得意先登録番号") Set Parameter("ia_VBKD_BSTKD")		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("登録 [電池] 請求修正プラス 検索") Set Parameter("ia_KUAGV_KUNNR")		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("登録 [電池] 請求修正プラス 検索") SAPGuiEdit("出荷先") Set Parameter("ia_KUUEV_KUNNR")		
SAPGuiSession["Session"] SAPGuiWindow("登録 [電池] 請求修正プラス 検索") SAPGuiEdit("得意先登録番号") SetFocus		
SAPGuiSession		
ia_VBKD_BSTKD	20300540020	登録 [電池] 請求修正プラス 検索
ia_KUAGV_KUNNR	IW000001	登録 [電池] 請求修正プラス 検索
call OCACCEL	IW000001	登録 [電池] 請求修正プラス 検索
ia_Table1_2_1	IW000001	登録 [電池] 請求修正プラス 検索
ia_Table1_3_2	B123400	登録 [電池] 請求修正プラス 検索
ia_Table1_4_3	IW000009	登録 [電池] 請求修正プラス 検索

QC-ACCELが自動編集・自動登録することにより、手作業によるミスを無くすとともに、スクリプトやSAP QCへの設定を標準化することが出来ます。その結果、自動テストの開発品質を高めます。

QC-ACCELはSAP QCのテスト自動化を加速します！

◆機能1 スクリプト自動編集

☑ 定型的なスクリプト編集を自動化

QC-ACCELは、スクリプトコンポーネントのスクリプト編集を自動的に行い、手動での編集工数を大幅に削減します。

- ▶ スクリプト内の固定値をパラメータ化
- ▶ スクリプトに定型文・定型処理を追加
- ▶ 画面切替の直前に画面キャプチャを追加
- ▶ フォルダ内複数コンポーネントを一括自動編集
- ▶ 編集前コンポーネントの自動バックアップ



☑ スクリプトを標準化

スクリプト自動編集機能により、入力コンポーネントパラメータを自動生成します。パラメータ名や初期値・備考欄など、誰が操作しても共通の設定となります。

スクリプトの標準化が促進され保守性の高いテスト資産を構築することが出来ます。

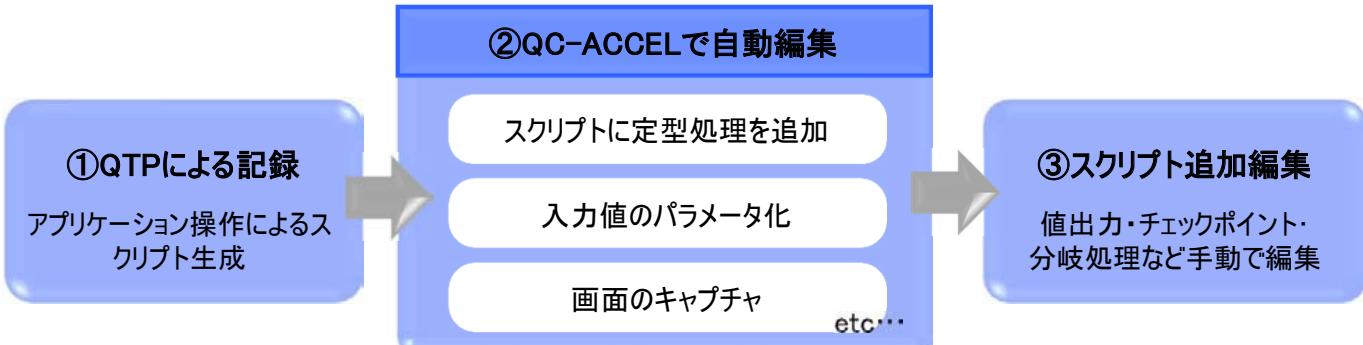
```
スクリプト変換実行 | コンポーネントパラメータ定義 | オブジェクトリスト | スクリプト項目一覧 | スクリプト変換結果 | ログ情報 |  
【変換前】  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiRadioButton("全明細").Set  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("勘定コード").Set "1000000000"  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("to").Set "1999999999"  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("観記日付").Set "2000/01/01"  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("to2").Set "2012/01/01"  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("明細の最大数").Set "50"  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiButton("入力").Click  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiButton("実行 (F8)").Click  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("指標").SAPGuiButton("続行 (入力)").Click  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("指標").SendKey("F8")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("SAP Easy Access").SendKey ENTER  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("SAP Easy Access").SAPGuiEdit("").Set Parameter("LSD_SAKNR_LOW")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("to").Set Parameter("LSD_SAKNR_HIGH")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("観記日付").Set Parameter("LSD_BUDAT_LOW")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("観記日付").Set Parameter("LSD_BUDAT_HIGH")  
【変換後】  
SAPGuiSession.Session = SAPGuiSession("Session").SAPEasyAccess("SAP_EASY_ACCESS").VIA0087Set("1000")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("SAP Easy Access").SendKey ENTER  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiRadioButton("全明細").Set  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("観記日付").Set Parameter("LSD_SAKNR_LOW")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("to").Set Parameter("LSD_SAKNR_HIGH")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("観記日付").Set Parameter("LSD_BUDAT_LOW")  
SAPGuiSession("Session").SAPGuiWindow("勘定コード明細照会").SAPGuiEdit("観記日付").Set Parameter("LSD_BUDAT_HIGH")
```

☑ 自動編集作業の流れ

SAP画面を操作しQTPの記録機能によってスクリプトを生成した後、QC-ACCELで自動編集します。

さらに値出力やチェックポイント、分岐など追加処理があれば、再びQTPを利用し手動で編集します。

スクリプト自動編集は、単一のコンポーネントのほか、コンポーネントフォルダの指定により一括でも実行出来ます。



◆機能2 テスト計画自動登録

QC-ACCELに添付しているMS-Excelテンプレートに、テスト計画設定データを定義し、QC-ACCELによってQCへテスト計画を自動登録します。

これにより、テスト開発者にとって負荷の高い以下の作業を自動化することができます。

- ▶ ①テスト計画定義の作成(フォルダ構造も作成)
- ▶ ②テスト計画へのコンポーネントの組込み
- ▶ ③テ스트リソースにデータテーブル作成
- ▶ ④テスト計画へのデータの動的設定
- ▶ ⑤MS-Excelのデータ入力シートの作成

また、テスト計画のパラメータにはテストデータのフィルタ項目を自動的に追加しますので、テストサイクルを跨いだデータテーブルの共有ができ、テスト実行対象のテストデータをフレキシブルに設定することができます。

MS-Excelテンプレート

- ・テスト計画設定シート
- ・コンポーネント組込み設定シート

自動登録

QC テスト計画

- ① テスト計画定義の作成
- ② テスト計画へのコンポーネントの組込み

Component

Component

Component

Parameters

QC テストリソース

- ③ QCテストリソースにデータテーブル作成

MS-Excel

- ⑤ MS-Excelのデータ入力シートの作成

- ④ テスト計画へのデータの動的設定

◆機能3 MS-Excelアップロード

QC-ACCELに添付しているMS-Excelテンプレートにデータを登録・アップロードすることで以下の設定をSAP QCへ一括で登録することができます。

- ▶ ビジネス／スクリプトコンポーネントの登録
- ▶ テスト計画へのビジネスコンポーネントの組込み、動的データ設定
- ▶ テストリソースのデータテーブルへのテストデータの一括アップロード
- ▶ テストラボへのテストセットの生成、テストセットへのテスト計画の組込み

【上図:コンポーネント登録の定義データ 下図:テスト計画へのコンポーネント組込み用定義データ】

システム定義項目(列固定)							ユーザ定義項目(2行目の見出し)	
フォルダ	コンポーネント名	コンポーネントタイプ	作成者	作成日	責任者	開発担当者	開発完了予定日	
30.販売	ZSCA080_製品返品_通常登録	QT-SCRIPTED	046786	2012/7/3	046786	SCS12001	2012/7/13	
30.販売	ZSCA086_出荷伝票登録_通常登録	QT-SCRIPTED	046786	2012/7/3	046786	SCS12001	2012/7/13	
30.販売	ZSCA088_製品出庫確認	QT-SCRIPTED	046786	2012/7/3	046786	SCS12001	2012/7/15	
30.販売	ZSCA090_請求伝票登録							
30.販売	ZSCK006_請求チェックリスト出力							
30.販売	ZSHW016_会計承認一括実行(締日)							
30.販売	ZSHW007_請求書出力							
30.販売	ZSHW008_請求一覧出力							

テスト計画情報			コンポーネント情報	
テスト計画フォルダ	テスト計画名	コンポーネントフォルダ	コンポーネント名	テスト順序
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSCA080_製品返品_通常登録	1
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSCA086_出荷伝票登録_通常登録	2
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSCA088_製品出庫確認	3
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSCK006_請求チェックリスト出力	4
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSHW016_会計承認一括実行(締日)	5
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSHW007_請求書出力	6
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSHW008_請求一覧出力	7
30.販売	S01037-01_製品返品処理	30.販売	ZSHW008_請求一覧出力	8

システム要件

OS	Windows® XP SP3・Windows® Vista SP1・Windows®7 32Bit
CPU	Intel iCore5 2200Mhz 以上
Memory	4GB 以上
HDD	10GB 以上の空き容量
SOFTWARE	ALM/QC:SAP Quality Center Ver.11.0 (Enterprise Edition・Premier Edition) QTP : Quicktest Professional Ver.11.0 MS-Excel : Microsoft Excel 2007・2010 .NET Framework : .NET Framework4.0
制約事項および注意事項	<ul style="list-style-type: none">SAPGUI for Windowsのみに対応します。QTPがライセンス認証されたPCにて実行する必要があります。QTPの「ビジネス/スクリプトコンポーネント」に対応し、「テスト」には対応しません。SAP QCのテスト計画のデータ設定方式は、動的データ設定のみに対応します。SAP QCのリポジトリ保存ディレクトリを共有設定する必要があります。

価格・ライセンス

- 価格：オープンプライス
- SAP QCライセンス数を上限とし、ご契約数分のPC固有ライセンスを発行します。

保守サポート

- 年間保守料 本体価格の18%

以下の保守サポートをご提供いたします。

- ①QC-ACCELに対するお問合せへの対応
 - ②不具合修正や機能改善などパッチのご提供
 - ③SAP QC/QTPバージョンアップに対応したソフトウェアの無償バージョンアップ
 - ④SAP QC/QTPに関するお問合せへの対応(但し、ご契約期間中の月毎に最大5回まで)
- ※限度回数を超えたご質問に対しては、別途弊社の「QC Q&A支援サービス」のご契約にて有償サポートが可能です。

開発・販売元

住友セメントシステム開発株式会社

情報システム事業部 QCコンサルチーム

〒105-0012

東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー3F

TEL : 03-6403-7861 FAX : 03-6403-7872

E-MAIL : erp_qc@sumitem.co.jp

<http://www.sumitem.co.jp/service/qualitycenter>



IS 582379 / ISO/IEC 27001:2005/JIS Q 27001:2006
住友セメントシステム開発株式会社は
本社事業を対象にISMS認証を取得しています

